

授業科目

感染防御と管理（微生物学を含む）

担当教員名 武石 雅幸、葛城 啓彰	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

感染防御と管理は、施設・地域を問わず求められる重要な取り組みである。

授業では、感染防止の基本的知識を理解し、科学的根拠にもとづく日常の感染防止対策、各施設や現場の患者特性、ニーズに適した感染防止対策、感染管理概論などについて行う。

授業の目的

1. 科学的根拠に基づく感染防止対策を理解する。
2. 具体的な感染防止技術を習得する。
3. 感染管理概論を理解する。

学習目標

1. 感染対策の重要性を理解できる。
2. 標準予防策と感染経路別予防策の考え方を理解できる。
3. 適切な手指衛生の方法とタイミングを理解し、実践できる。
4. 防護用具の正しい選択と着脱方法を理解し、実践できる。
5. 標準予防策に基づく、器材の処理方法、環境整備、廃棄物の処理方法が理解できる。
6. 職業感染対策を理解できる。
7. 部門別感染防止対策を理解できる。
8. 看護における感染管理の目的と、感染管理者の役割を理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	微生物、細菌学：病原微生物の種類と特徴およびその感染経路を説明する。	講義	葛城 啓彰
2	微生物学、細菌学：1類、2類、3類感染症の特徴と感染防御を説明する。	講義	葛城 啓彰
3	感染対策の重要性、標準予防策の考え方、適切な手指衛生の方法とタイミング	講義、演習	武石 雅幸
4	適切な防護用具の着用方法と選択、洗浄・消毒・滅菌の考え方、適切な環境整備と廃棄物処理方法	講義、演習	武石 雅幸
5	感染経路別予防策、職業感染対策（針刺し、ウイルス性疾患、結核）	講義、演習	武石 雅幸
6	部門別感染防止対策（ICU、小児科、NICU、手術室、高齢者施設、在宅）	講義	武石 雅幸
7	感染に関する法律、感染に関連する世界情勢、感染管理とは、感染管理者の役割	講義、レポート	武石 雅幸
8	まとめ（「こんなときどうする？」を考える）	グループ討議、発表	武石 雅幸

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	資料を配布します					
参考書	ベストプラクティスNEW感染管理ナーシング	洪愛子編集	株式会社学習研究社	2006年	2,800円	初版
その他の資料						

評価方法

- ・レポートによる評価 10%
- ・試験による評価 90%

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください